

製品安全データシート(SDS)

[混合物用(塗料用)]

1.製品及び会社情報

製品名 : ウイルスブロックコート(一般用)
 会社名 : BOT株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田西福田町4-3
 担当部門 :
 電話番号 : 03-5577-5560
 FAX番号 : 03-3527-1931
 緊急連絡先 : 03-5577-5560

2.危険有害性の要約

【GHS分類】

急性毒性	経口	: 区分外
急性毒性	経皮	: 区分外
急性毒性	吸入 (ガス)	: 分類できない
急性毒性	吸入 (蒸気)	: 区分外
急性毒性	吸入 (粉塵:ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性		: 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分2
呼吸器感受性		: 分類できない
皮膚感受性		: 分類できない
生殖細胞変異原性		: 区分1B
発がん性		: 区分2
生殖毒性		: 区分1A
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)		: 区分1
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)		: 区分1
吸引性呼吸器有害性		: 分類できない
水生環境有害性・急性		: 区分外
水生環境有害性・慢性		: 区分外
オゾン層への有害性		: 分類できない

【GHSラベル要素】

注意喚起語

危険



危険有害性情報

: 重篤な眼への刺激
 : 遺伝性疾患のおそれ
 : 発がんのおそれの疑い
 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 : 臓器の障害(中枢神経、全身毒性、麻醉性)
 : 長期または反復暴露による臓器の障害(肝臓、血液系、呼吸器)

注意書き 《予防策》

: 容器を密閉しておくこと。
 : 塗装時及び乾燥時には十分換気を行うこと。
 : ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
 : 取扱い時には飲食や喫煙をしないこと。
 : 取扱い時は保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
 : 取扱い後は手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行い、作業着に付着した汚れをよく落とすこと。
 : 環境への放出を避けること。

《応急処置》

- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚等に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てをうけること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。
- 漏出した場合 : 漏出物を回収すること。

《保管》

- : 直射日光、凍結を避ける。
: 涼しく換気のよい場所で、施錠して保管すること。(5°C以上、40°C以下)

《廃棄》

- : 内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3.組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 内装用エマルジョンペイント

成分及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量(重量%)	労安法
アクリル樹脂	登録済み	20~25	
助剤		<4	
エタノール	64-17-5	<1	61号
IPA	67-63-0	3~4	494号
銀系無機化合物		1~2	
水		70~75	
その他		<1	

4.応急措置

- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちにSDSを提示し医師の診断を仰ぐ事。
: 無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませないこと。
: 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。
: 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。
: 溶剤、シンナーは使用しない。
: 外観に変化や痛みがある場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸い込んだ場合には、直ちに、空気の新鮮な場所に移し暖かくし安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う
: 嘔吐物は飲み込ませないようにする。
: 直ちに医師の手当てを受けること。
: 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡する事。
- 応急処置をする者の保護 : 適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5.火災時の措置

- 使用可能な消火剤 水(○) 炭酸ガス(○) 泡(○) 粉末(○) 乾燥砂(○)

消火方法 :このもの自体は、不燃物であるが、水分蒸発後の残分は可燃性である。
:燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
:周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置 :作業の際には適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、エプロン、手袋等)を着用する。
:周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近かずけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項 :河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 :漏出物は密閉出来る容器に回収し安全な場所に移す。
:付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置すること。
:スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり廃液を回収する等の必要な処置をとること。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意 :容器内の圧力が高くなっている場合は、蓋を少しゆるめて圧力を抜き蓋を外す。
:換気の良い場所で取り扱う。
:容器はその都度密栓する。
:皮膚、粘膜又は着衣に触れたり眼に入らぬように適切な保護具を着用する。
:取り扱い後は手、顔をよく洗い休憩所などに汚染した保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意 :日光の直射を避ける。凍結を避ける。
:通風の良い所に保管する。
:転倒、転落しないように注意する。

塗装上の注意 :皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する
:塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気が無くなるまで換気を継続すること。

8.暴露防止及び保護措置

物質名	許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)	管理濃度	許容濃度	
IPA		200ppm	400ppm	【日本産業衛生学会】
エタノール		1000ppm	1000ppm	【ACGIH(TWA)】

設備対策 :屋内塗装作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

呼吸系の保護具 :ミストなどの吸入を妨げる保護マスクを着用する。

手の保護具 :有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具 :取り扱いには保護メガネを着用する。(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護 :取り扱う場合は、皮膚を直接曝されないよう化学薬品が浸透しない材質の衣類を着用すること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 乳白色液体
臭気	: 微アクリル臭
pH値	: 5.0～7.0
融点・凝固点	: 約 0°C(融点)
沸点、初留店及び沸騰範囲	: 約 100°C(沸点)
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
比重(相対密度)	: 1.00±0.05
溶解性	: 水で無限大に希釈可能
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
蒸発速度	: データなし

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定である。
反応性	: このものは燃えないが、塗膜等が燃焼すると CO、NO _x などを発生することがある。

11.有害性情報

急性毒性(経口)	エタノール	ラット	LD50	6200mg/Kg
	IPA	ラット	LD50	3437mg/Kg
急性毒性(経皮)	IPA	ウサギ	LD50	4059mg/Kg
急性毒性(吸入)	エタノール	ラット	LC50	20000ppm(10h)
	IPA	ラット	LC50	29620ppm(4h)
生殖細胞変異原性	エタノール	ラット及びマウスにおける優性致死の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発の報告あり。		
	IPA	マウス骨髄細胞を用いた小核試験で陰性		
発がん性	エタノール	A4(ACGIH(1996), グループ1(IARC))		
	IPA	A4(ACGIH(2003), グループ3(IARC))		
生殖毒性	エタノール	アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。		
	IPA	ラットでの発育毒性・催奇形性試験では催奇形性はなかったが親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められている。		

12.環境影響情報

- ・一般注意事項 : 漏洩、廃棄などの際、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意。
: 特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- ・生体毒性 : エタノール 甲殻類(オオミジンコ) LC50 5463.9mg/L(48時間)
: IPA 魚類(ヒメダカ) LC50 >100mg/L(96時間)
- ・残留性・分解性 : 情報を有していない。
- ・生態蓄積性 : 情報を有していない。
- ・土壌中の移動性 : 情報を有していない。

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃塗料などを廃棄処理する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして廃棄処理を委託する。

: 容器・機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
: 排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び関係する法規に従って処理するか、業者に委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器は内容を完全に除去してから処分する。
: 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

14. 輸送上の注意

: 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。
: 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を確実にすること。

国内規制

国連番号
指針番号

: 該当せず。
: 該当しない

陸上輸送

: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法 該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。
: 荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付すること。

海上輸送

: 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

: 航空法に定めるところに従う。

15. 主な適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(施行令第18条の2別表第9)
政令番号 61号エタノール、494号イソプロピルアルコール
: 名称等を表示すべき有害物(施行令第18条の2別表第9)
政令番号 61号エタノール、494号イソプロピルアルコール
七学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
消防法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. その他の情報

主な引用文献

: 日本塗料工業会編集(原材料物質データシート) (社)日本塗料工業会
: 製品安全データシート・ガイドブック[混合物用(塗料用)] 日本塗料工業会
: 化学物質毒性データブック 丸善
: GHS危険有害性分類結果(NITE)公表結果 (独立行政法人)製品評価技術基盤機構

注 意 ・このデータシートは、一般的な工業的用途について、「製品の適切な取扱い」確保するための参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものであります。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。